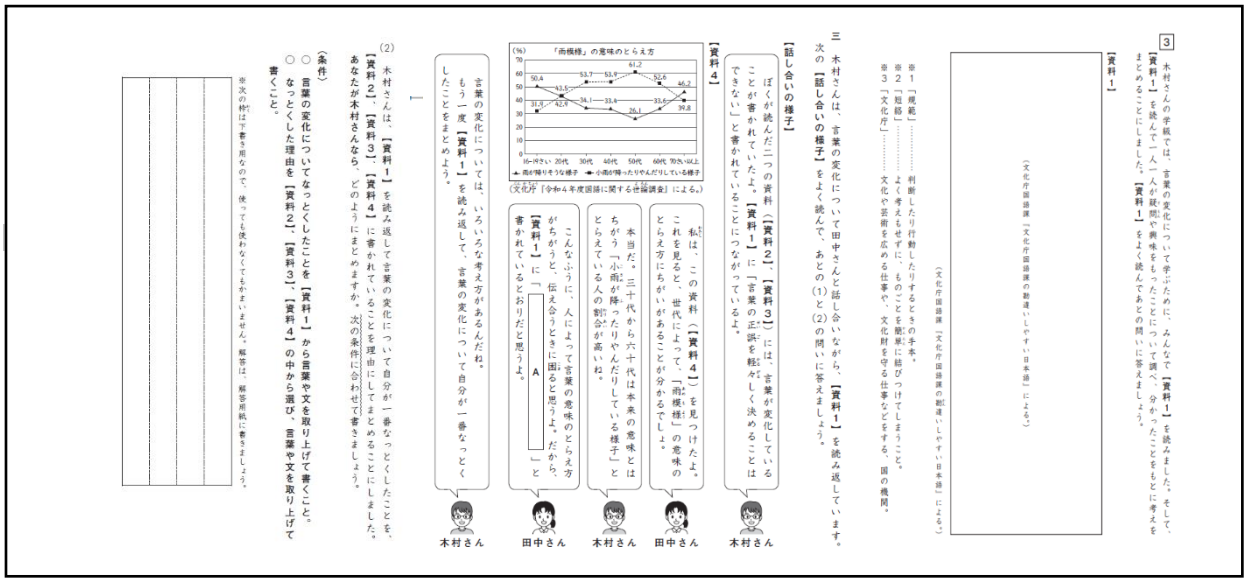
小学校国語

3 三（２） 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。



■学習指導要領における領域・内容
〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等　C 読むこと
ウ　目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

■正答及び正答率等

正答	正答率	誤答率	無答率
（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　言葉の変化について納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書いている。 ②　納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から選び、以下のように言葉や文を取り上げて書いている。 a 【資料2】、【資料3】のいずれかから言葉や文を取り上げて理由を書いている。 b 【資料4】から言葉や文を取り上げて理由を書いている。 c 【資料2】、【資料3】、【資料4】のうち複数の資料から言葉や文を取り上げて理由を書いている。	59．3%	26．3%	14．4%

■主な誤答とその要因

主な誤答	要因
（誤答例） 条件①、②のいずれかの条件のみしか満たしていないもの	・「【資料1】を読んで納得したことをまとめる」という目的を意識したものの、【資料1】を読んで納得したことの理由となる情報を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から見付けることができなかった。 ・「【資料1】を読んで納得したことをまとめる」という目的を意識せず、【資料2】、【資料3】、【資料4】の情報のみを取り上げた。

内容の系統と指導のポイント

小学校第1・2学年

Point

言葉や絵の使い方に着目させ、重要な情報を読み取ることができるようにする。その際、どのような言葉や絵から、どのようなことが伝わってきたのかを共有する場を設定することが大切である。

重要な情報を読み取る

教科書のここ！ 小2上 P.118～

みの回りのものを読もう（光村図書二上）

① 身の回りにある標識や看板、ちらしなどを想起する。
② それぞれの標識や看板の写真を見て、何を伝えるためのものか、そのためにどのような工夫があるかを考える。
③ 学校や地域にある標識や看板を探して、何を伝えているかを考え、重要な情報を読み取るためのポイントを振り返る。

C 読むこと ウ
文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

小学校第3・4学年

Point

パンフレットから情報を読み取る際には、具体的な目的（自分の知りたいこと）を想定して読み取ることができるようにする。また、他教科等や校外学習等と関連させ、児童一人一人が目的をもって読めるよう、単元構成を工夫することも考えられる。

目的を意識して、必要な情報を読み取る

教科書のここ！ 小4上 P.122～

パンフレットを読もう（光村図書四上）

① これまでの見たことのあるパンフレットを想起し、それぞれのパンフレットの共通点からその特徴を確かめる。
② パンフレット例を読んで、気付いたことを話し合う。
③ 知りたい情報を得るためには、パンフレットをどのように読めばよいかを考える。
④ パンフレットの工夫について話し合い、目的を意識して読むためのポイントを振り返る。

C 読むこと ウ
目的を意識して、中心となる語や文を見付けること。

小学校第5・6学年

Point

ニュースサイトと新聞記事を比べて読む際には、児童の読む目的を明確にするとともに、それぞれの資料の共通点や相違点を色分けしたり線で結んだりするなどして、資料のつながりを児童が意識できるようにすることが大切である。

目的に応じて、必要な情報を読み取る

教科書のここ！ 小6 P.104～

インターネットでニュースを読もう（光村図書六）

① これまでの経験を想起し、ニュースサイトのトップページの特徴を知る。
② ニュースサイトと新聞の記事を比べ、相違点を考える。ニュースサイトの記事から正しい情報を収集するための方法を考える。
③ 目的に応じて、実際にニュースサイトにアクセスし、興味のあるニュースを読んだり、さらに知りたいことを検索したりする。
④ 目的に応じて正しい情報を得るためのポイントを振り返る。

C 読むこと ウ
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

【単元を設定するにあたって】

○ 児童にとって必要な情報は、目的に応じて変わるため、文章を**読む目的**を明確にすること。
○ 複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、**文章と図表などの関係を捉えて**読むことを指導すること。

本設問の活用の手順

① 学習の見通しをもつ場面では、共通資料の内容を捉え、そこから一人一人が疑問や興味をもてるようにすることが重要である。対話の中で友達と考えを伝え合ったり、自分の経験や知識を結び付けて考えたりすることで、一人一人が疑問や興味をもち、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにする。
② 必要な情報を集める場面では、情報を集めるための十分な時間や環境を設定する必要がある。たくさんの情報の中から必要な情報を見付けるには、気になる言葉を手がかりに、資料を収集し、その資料に書かれている文章の要旨を捉えた上で、必要な情報かを確かめることができるようにする。
③ 情報を関連付けて読む場面では、資料が文章の場合でも、図表やグラフと同じように丸や四角で囲んだり、線などでつないだりするなどして、どの部分と結び付くのかを明らかにしながら読むことが大切である。その際、他者との対話を通して、児童自身が読む目的に立ち返り、必要な情報を再確認して資料を読み直すことができるようにする。